おおふなと 社協だより

2026年9月号

ふれあいネットワーク

社協のホームページがリニューアルされました！

大船渡　社協　検索

https://ofunato-shakyo.com

今月の表紙

多田栞里（ただしおり）ちゃん（8歳）

創真（そうま）くん（6歳）

（桂三（けいぞう）さん・麻貴（まき）さんのお子さん）

（立根町）

二人仲良く元気に育ってね！！（父・母より）

【特集】
支える人を支える募金
赤い羽根共同募金運動80周年…… 2～4
就労準備支援事業…… 5
保護司の活動…… 5
お知らせ…… 6～7
輝き人…… 8

八十周年
ありがとう。これからも一緒に。

支える人を支える募金

赤い羽根共同募金運動80周年

○ありがとう。これからも一緒に。

赤い羽根をシンボルとして全国的に展開してきた「赤い羽根共同募金運動」が、今年80回目を迎えます。

赤い羽根共同募金は、昭和22年に市民が主体となり、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が始まりました。

その後、法律（現在の「社会福祉法」）に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。募金運動は都道府県ごとに行われ、それぞれの地域で集まったお金は、その地域の福祉活動に役立てられる「じぶんの町を良くするしくみ」として活用されています。

大船渡市では、こどもたちの福祉教育活動、夏休み・冬休みの居場所づくり、車いすを利用する人の移動支援のほか、地域で実践されている様々な住民活動を支える貴重な財源となっています。

○災害時にも活躍する赤い羽根共同募金

共同募金は、大規模災害発生時に被災された人やボランティアを支えるためにも充てられています。国内外問わず大きな災害の発生に伴い、「被災者に直接届けられる義援金」と「被災者を支える活動費となる支援金」の2つの募金を募り、早期復興を支える大きな財源として被災地に届けられます。

赤い羽根の誕生秘話

どうして赤い羽根なの？

「赤い羽根」は、昔から勇気や名誉、善行のシンボルとして、インディアンの羽根飾りや騎士の帽子などに使われていました。日本における共同募金では、第２回の運動から「善行のしるし」として募金に協力してくれた人へ赤い羽根を配るようになり、シンボルとして定着しています。

【募金の実施方法】

	戸別募金	法人募金	職域募金	学校募金	街頭募金	その他
	公民館、契約会など、住民組織の協力による世帯募金	企業、法人からの協力による募金	企業、団体、官公庁などの職域の協力による募金	小中学校、高等学校の協力による募金	ショッピングセンターなどで来店者の協力による募金	個人募金、寺院檀家会など
一般募金	72.7%	11.8%	0%	3.4%	2.5%	9.6%
歳末たすけあい募金	53.7%	13.2%	12.8%	0.4%	1.9%	18%

募金実績割合（R7年度）

【令和８年度募金の主なつかいみち】

一般募金（令和９年度地域福祉活動費）

●健康でいきいきと暮らし続けられる
　地域づくり
①まちづくり活動助成事業
（サロン・住民交流活動への助成）

●ボランティア、支援活動の拡大
②ボランティア活動センター運営事業
（ボランティア人材育成、高齢者宅の草取り、
　窓ふきなど、ボランティアによる支援）
③にこにんスクール開催事業
（長期休暇中の小学生の居場所づくり）

●生活のしづらさを抱えた人への支援
④高齢者生活支援事業
（地域と協働による買い物支援）
⑤リフトバス貸出事業
（車いす利用者の外出支援）

歳末たすけあい募金
（令和８年度歳末たすけあい事業）

●生活の困難を抱える人たちへの緊急支援
⇒歳末配分助成・食糧支援

トピック

末崎小学校児童による
大槌町林野火災義援金募金活動

　令和８年７月24日に末崎小学校の児童の皆さんから、大槌町林野火災災害義援金として156,186円をお預かりしました。
　募金活動は６年児童の発案によるもので、昨年大船渡市で発生した大規模林野火災時に、たくさんの支援をいただいたことから、恩返しをしたいとクラスのみんなに呼びかけ、先生や保護者の協力により実現したそうです。
　募金活動は市内のショッピングセンターで行われ、たくさんの市民の皆さまにもご協力いただきました。
　児童の皆さまの勇気と優しい気持ちに事務局も心が温まりました。

赤い羽根共同募金

【令和８年度の募金目標額】　**総額 9,600,000 円**

募金種別	募金目標額	
	一般募金	歳末たすけあい募金
戸別募金	4,300,000	1,800,000
街頭募金	200,000	100,000
法人募金	780,000	500,000
学校募金	200,000	50,000
職域募金	－	450,000
イベント募金	20,000	10,000
個人募金	400,000	90,000
その他	200,000	500,000
合　　計	6,100,000	3,500,000

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

赤い羽根共同募金は、今年度も 10 月 1 日より全国一斉に開始されます。

当市においても、中央募金会共同募金運動要領に基づき、岩手県共同募金会と呼応した募金運動を実施することとしています。

毎年、市民の皆さまや企業、学校、職場などからお寄せいただいた募金は、社会福祉協議会をはじめ、地域住民組織などが取り組む福祉活動や支援を要する世帯助成など、「じぶんの町を良くするしくみ」として活用されています。

今年度も、赤い羽根共同募金にご協力をお願いいたします。

○令和８年度の戸別募金目安額

	一般募金	歳末たすけあい募金
一世帯当たりの目安額	500円	200円

○戸別募金の協力依頼方法

10月以降に、地域公民館、自治会、契約会など、各地域の住民組織の代表者を通じて、ご協力をお願いする予定です。なお、募金は強制するものではありません。各家庭相応のご協力をいただければ結構です。

赤い羽根 寄付付き商品のご案内

商品の売り上げの一部が赤い羽根共同募金へ寄付されます

大船渡市共同募金委員会 × THREE PEAKS

りんご屋まち子のアップルジュース（スリーピークス）

720ml/350ml

ビタミンカラーがビジュアルからも元気をもらえるアップルジュース。粗濾過製法だから、りんごそのものの美味しさがダイレクトに感じられる特別感のあるジュースです。

就労に向けたステップアップの一環として
就労準備支援事業

就労準備支援事業では、「コミュニケーションに不安がある」「体力に自信がない」といった悩みを抱える人の相談に応じ、福祉施設などでボランティア体験の機会を設けています。

7月の活動では、公共施設の環境整備として、大船渡市Y・Sセンター周辺の草取り作業をしました。梅雨の季節のため、草が広範囲に生い茂っていましたが、鎌で丁寧に草を取り除きました。作業中、参加者同士で談笑する場面もあり、気持ちの良い汗を流しながら作業を行いました。

伸びた草を一つ一つ丁寧に取り除きました

取り除いた草を集め、片付けまでしっかり作業に取り組みました

参加者は「自分が作業した場所が綺麗になって嬉しかった。活動に参加することで、地域に貢献することができてよかった」と話していました。

当事業への参加や相談も随時受付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

更生を地域で支える
保護司の活動

保護司は、罪を犯した人が地域で立ち直り、安心して暮らせるよう支援する法務大臣が委嘱した更生保護のボランティアです。面接を通して生活や仕事、家族との関係などについて話を聴き、一人ひとりに寄り添いながら社会復帰を支えています。

更生保護活動では、犯罪や非行を未然に防ぐための啓発活動にも取り組んでいます。

木工品や革製品、日用品などが並び、多くの人が足を止めていました

7月25日（土）には、更生保護に関する啓発活動として「社会を明るくする運動」を行いました。当日は、サンリアショッピングセンターを会場に、受刑者が製作した「刑務所作業製品」の展示・販売を実施。製品を通して、更生を支える取り組みを伝える機会となりました。

気仙地区保護司会会長の葛西（かさい）修哉（しゅうさい）さんは、「更生保護はずっと続くもの。地域全体で力を合わせて安心して暮らせるまちづくりにつながれば」と話していました。

一方で、保護司の担い手不足は全国的な課題となっています。地域の安全・安心を支える活動を未来につないでいくためには、多くの人に更生保護への理解を深めてもらうことが大切です。

だれでも気軽に参加できる 交流の場

にこにんプラザ イベント情報（9月）

○にこにんプラザ

申 込 先：にこにんプラザ
住所　大船渡町字野々田 10-3
キャッセンモール＆パティオ内
22-9511
申込方法：電話または直接来所
※９月１日から申込開始

開 催 日	内　　容	時　　間	定　員
３日(木)	社協で写経	午前10時30分～11時30分	なし
４日(金)、24日(木)	英会話教室	午前10時30分～午後０時30分	各10人
７日(月)	手芸サークル	午後１時～３時	なし
８、29日(火)	パソコン講座	午前10時～11時30分	なし
10日(木)	健康リズムダンス	午前10時30分～11時30分	10人
11、25日(金)	ヨガ教室	午前10時30分～11時30分	各８人
14、28日(月)	パッチワーク教室	午前10時～正午	なし
17日(木)	ボクシングDEエクササイズ	午前10時30分～11時30分	８人
18日(金)	ふまねっと	午前10時30分～11時30分	なし

※持ち物：「社協で写経」は筆ペン
※毎週火、木曜日午後はフリーサークル（麻雀）、金曜日午後はフリーサークル（囲碁、将棋、麻雀）です
※毎週水曜日の午前 10 時～午後３時まで「みんなで子育てサロン」を開催しています
※９月１日からの申込みのため定員に達している場合があります
※定員がないものは申込不要で当日参加できます

○にこにんプラザ・セカンド（大船渡市Ｙ・Ｓセンター内）

申 込 先：にこにんプラザ・セカンド
27-0001
申込方法：電話または直接来所
※随時申込可能

開 催 日	内　　容	時　　間	定　員
７日(月)	ゆるりカフェ （不登校や子どもの学校の悩みを持つ保護者の交流の場）	午前10時～正午	なし
９日(水)	姿勢講座～猫背の話～	午前11時～正午	10人
９日(水)、25日(金)	手芸サークル「ちくちくの会」 （お茶のみしながら手芸など）	午後１時～２時30分	なし
18日(金)	おうち花飾り教室	午後１時～２時30分	10人

※持ち物：「ちくちくの会」は裁縫道具。「おうち花飾り教室」は自宅の庭や畑の草花、花ばさみ 花びん
※参加費：「おうち花飾り教室」は一人 500 円
※イベントのない日は開放していますので、友人とのおしゃべりや打ち合わせ、お茶のみ、休憩など自由にご利用ください
※定員がないものは申込不要で当日参加できます

おおふなとボランティアフェスティバル開催

市内のボランティア団体の活動を知り、体験できる機会です。
さまざまな企画がありますので、会場で一緒に体験してみませんか。

日　時　10月３日（土）
午前10時～午後１時
会　場　岩手県立福祉の里センター
内　容　⑴ボランティア団体・ＮＰＯ団体活動紹介
⑵物販（各施設の製品販売など）
⑶謎解きスランプラリー（ボランティア体験）
⑷ステージ発表（江刺幸男気象予報士の防災のお話、こども園遊戯、合唱、朗読劇など）
⑸わくわくキッズひろば（子ども向け遊び場）
⑹おもちゃ病院開設
修理の必要なおもちゃをご持参ください。
おもちゃ修理ボランティアに興味のある人もぜひお越しください

献血してみませんか！

献血とは、病気の治療や手術などで輸血や血しょう分画製剤を必要としている患者のために、健康な人が自身の血液を無償で提供するボランティアです。
下記日程で、献血を行います。献血に興味のある人、ぜひお越しください。

実施日　９月 29 日(火)
会　場　株式会社佐賀組
時　間　①午前９時～ 11 時 30 分
②午後１時～４時 30 分

令和８年度筋力測定会の開催中止について

測定機材が使用不可になったことにより、今年度、開催を予定していた残り３回は中止とします。

令和８年熊本地震義援金募集

令和８年７月28日（火）に発生した熊本地震に対して、岩手県共同募金会では義援金の募集をしています。

名　称　令和８年熊本地震義援金
受付期間　10 月 30 日(金)
受入先　現金納付は、大船渡市共同募金委員会で受け付けています
※金融機関での振り込みの場合は、当会ホームページをご確認ください

寄付・寄贈物品受入(敬称略)(7月11日～8月10日)

○熊本地震に寄せられた義援金
〈赤い羽根共同募金〉
甫嶺自治会
〈日本赤十字社〉
(株)アースデザインコンサルタンツ
○物品寄贈
大船渡ライオンズクラブ（子育て支援のためのお菓子の詰め合わせなど）

「募集」「イベント」
「お知らせ」など
暮らしに役立つ情報を
お届けします。

お知らせ
令和８年 ９月

申込・問い合わせ先　大船渡市社会福祉協議会
電話 0192(27)0001(代表)

カラオケランチ会参加者募集

カラオケとちょっと贅沢で美味しいランチをみんなで楽しむ会を開催します。

日　時　９月 24 日(木)
午前 11 時～午後１時 30 分
会　場　大船渡プラザホテル
内　容　カラオケとワンドリンク付きランチ
参加費　2,500 円
定　員　20 人
申込方法　９月 18 日(金)午後５時までに電話または直接来所にて申込み
※申込受付は平日のみ

音声訳教室参加者募集

書かれた文字を視覚に障がいのある人の目の代わりに、声に出して読むことを音声訳といいます。音声訳を学んでみませんか？

日　時　10 月７日(水)、14 日(水)(全２回)
午後１時 30 分～３時 30 分
会　場　大船渡市総合福祉センター多目的室
内　容　音声訳の基礎を学ぶ
定　員　10 人
※定員になり次第締切
※定員に達していない場合は、随時申込可能
申込方法　10 月６日（火）午後５時までに電話または直接来所にて申込み
※申込受付は平日のみ

手話教室参加者募集

手話の基礎を学びながら、コミュニケーションの輪を広げてみませんか。参加には事前申し込みが必要です。

日　時　10月８日から29日まで毎週木曜日（全４回）
午後６時30分～８時30分
会　場　大船渡市総合福祉センター学習室
内　容　手話による表現方法
（自己紹介、あいさつなど）
定　員　10 人
※定員になり次第締切
※定員に達していない場合は、随時申込可能
申込方法　10 月５日（月）午後５時までに電話または直接来所にて申込み
※申込受付は平日のみ

輝き人 ～かがやきびと～

看護師／社会福祉士
鈴木淳子さん 51歳

代表／社会福祉士／認定ケアマネジャー／終活ライフケアプランナー
金野富さん 39歳

社会福祉士／介護支援専門員
佐々木三千代さん 47歳

看護師／認定メンタル心理カウンセラー
高橋美華さん 48歳

シェア活　ゆるーい仲間づくり

医療・介護の分野で働いているメンバーを中心に結成されたサークル。誰かの「やってみたいこと」を元に、遊び・食事・ボランティアなどを通して、それぞれ自分の色で集まれるゆるーい仲間づくりを目指す。

楽しさが生み出す、新しいつながり

「やってみたい」がつながりを生む

「シェア活」は昨年11月、4人の仲間とともにスタートしました。はじめはピザづくりや竈を使った防災カレーづくりなど、メンバーの「やってみたい」や「面白そう」という企画を実施してみました。メンバーが住む地域で企画を重ねていくうちに、「こんなことができたらいいな」という住民の声も聞こえてくるようになりました。たとえば、高齢者や障がい者の買い物支援や世代間交流、イベントの開催など、いろいろな人の「やってみたい」に触れることが増えてきたんです。

そんな中で今年7月、「生きづらさを抱えて生活する子どもを持つ保護者が気楽に話し合える場があったらいいよね」という声から、「子育てトーク会」を開催しました。多くの人に参加いただき、悩みや情報の共有とともに、参加者同士がつながることができた、素敵な会になりました。

目指すのは地元福祉のアップデート

地域にはすでに素敵な活動をしている人がたくさんいるのに、それが知られていないことも多いと思います。だから、私たちは新しいものをつくるというより、人や活動をつないで、もっと知ってもらえるきっかけを増やしたいと考えています。

シェア活のメンバーは、ケアマネジャーや看護師、社会福祉士などの医療・福祉の専門職です。しかし、シェア活では肩書きを外して、一人の地域住民としての「やってみたい」を大切にしています。

「課題を解決しよう」と構えるのではなく、「楽しそうだからやってみる」という気持ちから始まる活動を積み重ね、地域を少しずつアップデートしていけたら嬉しいです。

表紙モデル大募集！

ご家族で 親子で ご夫婦で社協だよりの表紙を飾ってみませんか？
左のQRコードから、または社協までお申し込みください。

おおふなと社協だより　No.392　2026年9月　編集・発行／社会福祉法人　大船渡市社会福祉協議会

〒022-0006 大船渡市立根町字下欠125-12「Y・Sセンター」内
TEL 0192-27-0001　FAX 0192-27-0800
E メール ooshakyo@cocoa.ocn.ne.jp
ホームページ https://ofunato-shakyo.com

「おおふなと社協だより」は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙と植物性インキを使用し、共同募金配分金を活用して発行しています。